

2023年4月26日

各 位

会 社 名 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 船 曳 睦 雄
(コード：2798 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 武 本 尚 子
(TEL：03-5412-0065)

(訂正・数値データ訂正)「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

2023年4月14日に開示いたしました「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データを提出いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明したため、当該項目を訂正するものです。

2. 訂正の内容

以下のとおりです。訂正箇所には下線を付して表示しております。

添付資料 3 ページ

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態の概況

③純資産の状態

【訂正前】

当連結会計年度末における純資産合計は303百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円増加しました。これは、新株の発行による資本金の増加237百万円及び資本剰余金の増加237百万円、減資及び欠損填補による資本金の減少237百万円、資本剰余金の減少237百万円及び利益剰余金の増加474百万円、並びに当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失の計上72百万円等によるものです。

【訂正後】

当連結会計年度末における純資産合計は303百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円増加しました。これは、新株の発行による資本金の増加237百万円及び資本剰余金の増加237百万円、減資による資本金の減少237百万円及び資本剰余金の増加237百万円、欠損填補による資本剰余金の減少100百万円及び利益剰余金の増加100百万円、並びに当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失の計上72百万円等によるものです。

添付資料 6 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	271,124	402,881
短期借入金	1,074,649	721,399
1年内返済予定の長期借入金	215,800	299,650
未払金	501,652	549,998
未払法人税等	4,187	6,746
リース債務	35,717	33,586
未払消費税等	35,126	160,908
預り金	122,042	126,806
ポイント引当金	15,848	—
契約負債	—	51,361
株主優待引当金	58,143	57,525
その他	108,240	48,313
流動負債合計	2,442,534	2,459,176
固定負債		
長期借入金	1,600,282	1,374,777
資産除去債務	826,545	804,777
リース債務	53,634	20,048
その他	76,292	58,378
固定負債合計	2,556,754	2,257,981
負債合計	4,999,289	4,717,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,970	1,970
利益剰余金	△145,819	252,022
自己株式	△556	△556
株主資本合計	△94,405	303,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	196
その他の包括利益累計額合計	131	196
純資産合計	△94,273	303,632
負債純資産合計	4,905,015	5,020,791

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	271,124	402,881
短期借入金	1,074,649	721,399
1年内返済予定の長期借入金	215,800	299,650
未払金	501,652	549,998
未払法人税等	4,187	6,746
リース債務	35,717	33,586
未払消費税等	35,126	160,908
預り金	122,042	126,806
ポイント引当金	15,848	—
契約負債	—	51,361
株主優待引当金	58,143	57,525
その他	108,240	48,313
流動負債合計	2,442,534	2,459,176
固定負債		
長期借入金	1,600,282	1,374,777
資産除去債務	826,545	804,777
リース債務	53,634	20,048
その他	76,292	58,378
固定負債合計	2,556,754	2,257,981
負債合計	4,999,289	4,717,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,970	375,831
利益剰余金	△145,819	△121,839
自己株式	△556	△556
株主資本合計	△94,405	303,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	196
その他の包括利益累計額合計	131	196
純資産合計	△94,273	303,632
負債純資産合計	4,905,015	5,020,791

添付資料 10 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(3) 連結株主資本等変動計算書

【訂正前】

当連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2023年2月28日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,970	△145,819	△556	△94,405
会計方針の変更による累積的影響額			△4,201		△4,201
会計方針の変更を反映した当期首残高	50,000	1,970	△150,021	△556	△98,607
当期変動額					
新株の発行	237,224	237,224			474,448
減資	△237,224	237,224			-
欠損填補		<u>△474,448</u>	<u>474,448</u>		-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△72,404		△72,404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	<u>402,043</u>	-	402,043
当期末残高	50,000	<u>1,970</u>	<u>252,022</u>	△556	303,436

(単位：千円)

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	131	131	△94,273
会計方針の変更による累積的影響額			△4,201
会計方針の変更を反映した当期首残高	131	131	△98,475
当期変動額			
新株の発行			474,448
減資			-
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△72,404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	64	64	64
当期変動額合計	64	64	402,108
当期末残高	196	196	303,632

【訂正後】

当連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2023年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,970	△145,819	△556	△94,405
会計方針の変更による累積的影響額			△4,201		△4,201
会計方針の変更を反映した当期首残高	50,000	1,970	△150,021	△556	△98,607
当期変動額					
新株の発行	237,224	237,224			474,448
減資	△237,224	237,224			-
欠損填補		<u>△100,587</u>	<u>100,587</u>		-
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△72,404		△72,404
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	<u>373,861</u>	<u>28,182</u>	-	402,043
当期末残高	50,000	<u>375,831</u>	<u>△121,839</u>	△556	303,436

（単位：千円）

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	131	131	△94,273
会計方針の変更による累積的影響額			△4,201
会計方針の変更を反映した当期首残高	131	131	△98,475
当期変動額			
新株の発行			474,448
減資			-
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△72,404
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	64	64	64
当期変動額合計	64	64	402,108
当期末残高	196	196	303,632

添付資料 14 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(会計方針の変更)

【訂正前】

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(中略)

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過
的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合
の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会
計方針を適用しております。この結果、従前の会計処理と比較して、当連結会計年度の売上高
は 854,005 千円減少し、売上原価は 851,044 千円減少し、営業損失は 2,960 千円増加し、経常
利益は 2,960 千円減少し、税金等調整前当期純損失は 2,960 千円増加しております。また、利
益剰余金の当期首残高は 4,201 千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負
債」に表示していた「ポイント引当金」の一部は、当連結会計期間より「契約負債」に含めて
おります。なお、収益認識会計基準第 89-2 項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計
年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

【訂正後】

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(中略)

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過
的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合
の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会
計方針を適用しております。この結果、従前の会計処理と比較して、当連結会計年度の売上高
は 848,246 千円減少し、売上原価は 851,044 千円減少し、営業損失は 2,798 千円減少し、経常
利益は 2,798 千円増加し、税金等調整前当期純損失は 2,798 千円減少しております。また、利
益剰余金の当期首残高は 4,201 千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負
債」に表示していた「ポイント引当金」は、当連結会計期間より「契約負債」に含めておりま
す。なお、収益認識会計基準第 89-2 項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に
ついて新たな表示方法により組替えを行っておりません。

以上